

地域医療構想の推進に関する意向調査票【R 3 年度 (2021年度)】

資料5-1

- : リストから選択してください。
- : 文字、数字を入力してください。
- : 該当する欄にチェックを入れてください。

医療機関区分	
圏 域 名	
医療機関所在地市区町村	

1 基本情報

医療機関名			開設主体																	
(記入者)	所 属		電話番号																	
	職・氏名		e-mail																	
許可病床数	【総計】 0 床 【一般・療養の計】 0 床 一般 床 療養 床 精神 床 結核 床 感染 床																			
建物の状況	建築： 年度（築後年数： 年） 改築予定 （令和 年度頃に改築を予定）																			
診療科目																				
主な職員の人数 （常勤換算） ※R3.7.1時点(R3病床機能報告と同時点)	<table border="0"> <tr> <td>・医師</td><td> 人</td> <td>・理学療法士</td><td> 人</td> </tr> <tr> <td>・薬剤師</td><td> 人</td> <td>・作業療法士</td><td> 人</td> </tr> <tr> <td>・看護師</td><td> 人</td> <td>・言語聴覚士</td><td> 人</td> </tr> <tr> <td>・准看護師</td><td> 人</td> <td>・医療ソーシャルワーカー</td><td> 人</td> </tr> </table>				・医師	 人	・理学療法士	 人	・薬剤師	 人	・作業療法士	 人	・看護師	 人	・言語聴覚士	 人	・准看護師	 人	・医療ソーシャルワーカー	 人
・医師	 人	・理学療法士	 人																	
・薬剤師	 人	・作業療法士	 人																	
・看護師	 人	・言語聴覚士	 人																	
・准看護師	 人	・医療ソーシャルワーカー	 人																	

2 「病床機能報告制度」について

平成26年度からスタートした病床機能報告制度は、一般病床・療養病床を有する病院又は診療所が担っている医療機能を、病棟単位を基本として、「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の4区分から一つを自主的に選択し、都道府県に報告し、都道府県が公表するものです。

また、医療機能の報告に加えて、その病棟にどんな設備があるのか、どんなスタッフが配置されているのか、どんな医療行為が行われているのか、についても報告・公表することとしています。

報告された情報を公表することにより、地域の医療機関や住民等が地域の医療提供体制の現状と将来の姿について共通認識を持つことができ、医療機関の自主的な取組及び医療機関相互の協議によって、医療機能の分化・連携など、地域医療構想の推進に資することとなります。

毎年、厚生労働省（三菱総合研究所）の指定する期日までに必ず報告するようご協力をお願いします。

(1) 平成28年度以降の報告内容を記載してください。【許可病床数】 ※未報告である年度は、空欄

報告年度	許可病床数						合 計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等 (コロナ)	休棟等 (コロナ以外)	
H28年度					X		0床
R2年度							0床
R3年度(予定)							0床

※新型コロナウイルス感染症対応による休棟と、それ以外の理由による休棟を分類してください。

※新型コロナウイルス感染症対応のための臨時病床等の増床分は除いてください。

(2) 令和3年度の報告内容(予定)について、「許可病床数」と「稼働病床数」を記載してください。

【R3年度報告】	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等 (コロナ)	休棟等 (コロナ以)	合 計
許可病床数							0床
稼働病床数							0床
非稼働病床数	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床

※新型コロナウイルス感染症対応による休棟と、それ以外の理由による休棟を分類してください。

※新型コロナウイルス感染症対応のための臨時病床等の増床分は除いてください。

(3) 2025年の病床機能(予定)について記載してください。

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合 計
許可病床数						0床

(4) - 1 「病床機能の転換」、「病床の廃止(削減)」又は「2以上の医療機関による再編・統合」を予定・検討している医療機関は、その内容(「転換」・「削減」する場合は病床機能、病床数、「再編」・「統合」の場合は、「再編」・「統合」前後の病床機能や病床数の変更等)について記載してください。

「転換」・「廃止(削減)」・「再編」・「統合」の内容

※上記の回答欄に記載した医療機関は、基金事業(施設整備・設備整備)の活用予定の有無を回答してください。

(検討中の場合は「有」としてください)。

基金事業の活用予定 ☐

(4) - 2 当該構想区域で過剰な病床機能に転換予定の医療機関は、その理由について記載してください。

転換の内容	理由

(5) (2)において「非稼働病床」を有する医療機関は、その理由と今後の運用見通しを記載してください。

非稼働の理由	今後の運用見通し

3 今後担うべき役割

2025年を見据え、自らの医療機関が当該構想区域で担うこととしている役割について、他の医療機関との役割分担・連携を考慮しつつ、**主たる役割に最も近い記述を1つ選択**するとともに、具体的な内容について記載してください。

- ☐ 救急患者の受入れや手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う
- ☐ 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う
- ☐ 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後の在宅復帰に向けた医療の提供やリハビリテーションを行う。
- ☐ 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う
- ☐ かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う

今後担うべき役割

4 その他

開設者の変更（個人間の継承を含む。以下同じ。）を予定・検討している医療機関は、開設者の変更後に、当該構想区域で担う役割・機能について記載してください。

今後担う役割・機能

ご協力ありがとうございました。

本調査の回答内容につきましては、医療機関名を含め、地域医療構想調整会議において共有させていただきますので、あらかじめご了承ください。

また、2（3）と3の回答内容につきましては、医療機関名を含め、公表させていただきます可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

意向調査結果＜抜粋＞

資料 5 - 2

2（4）－1 「病床機能の転換」、「病床の廃止(削減)」又は「2以上の医療機関による再編・統合」を予定・検討している医療機関は、その内容（「転換」・「削減」する場合は病床機能、病床数、「再編」・「統合」の場合は、「再編」・「統合」前後の病床機能や病床数の変更等）について記載してください。

八雲町熊石国保病院	病院建替事業を進めており、新病院では急性期機能と回復期機能を保有し、稼働病床60床から45床へダウンサイジングを予定している。（事務局記載：再検討により、30床で移転改築となった）
長万部町立病院	療養介護病床については、2025年度までに廃止を検討中
せたな町立国保病院	病院の建替えを検討しており、それに伴い病床数削減や病床機能について検討を重ねている。（※将来的な病床数は減少させる方向ですが、現時点で具体的な数値を決定していないため、（3）は現状の60床で報告しています。）

3 今後担うべき役割

2025年を見据え、自らの医療機関が当該構想区域で担うこととしている役割について、他の医療機関との役割分担・連携を考慮しつつ、主たる役割に最も近い記述を1つ選択するとともに、具体的な内容について記載してください。

主たる役割	救急患者の受入れや手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う	近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う	近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後のリハビリテーションを担う	長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う	かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う
R1調査		八雲総合病院			八雲町熊石国民健康保険病院
		長万部町立病院			
		今金町国保病院			
		せたな町立国保病院			
R2調査		八雲総合病院	八雲町熊石国民健康保険病院	道南ロイヤル病院	長万部町立病院
		今金町国保病院			
		せたな町立国保病院			

R3調査		八雲総合病院	長万部町立病院	道南ロイヤル病院	八雲町熊石国民健康保険病院
		せたな町立国保病院	今金町国保病院	せたな町立国保病院	
			せたな町立国保病院		

（具体的内容について）

八雲総合病院	北渡島・松山医療圏のセンター病院として、救急・急性期機能を一定維持しつつ、圏域における人口減少、少子高齢化等の環境の変化を注視しながら、回復期、慢性期、精神医療といった幅広いニーズに応える。
八雲町熊石国保病院	救急告示病院として急性疾患や急性増悪に対応できるよう一定数の急性期病床は今後も確保する必要があり、併せて、回復期医療を新たに導入して、慣れ親しんだ地域や自宅で生活が送れる体制の整備を図り、連携する急性期病院の後方支援としての役割を担う。
今金町国保病院	総合診療科への移行や訪問診療の充実により多様な世代が共に暮らせる福祉・医療の提供に努めるとともに、地域包括ケア病床やリハビリテーションの拡充を図り、在宅復帰に向けた医療の提供を担う。
長万部町立病院	町内で唯一の病院であり、緊急告示病院として地域医療を担うこととともに、近隣の高度・専門医療機関と連携を強化し、回復期病床を確保し在宅復帰や在宅支援に繋がる医療を提供する
せたな町立国保病院	未（建替協議中のため：事務局記載）
道南ロイヤル病院	未（上記項目の選択で明らかである：事務局記載）

令和2年度病床機能報告 ～抜粋資料～

資料5－3

◆救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無

(項目の解説)		八雲総合 病院	八雲町熊石 国民健康 保険病院	長万部 町立病院	今金町国保 病院	せたな町立 国保病院	道南ロイヤ ル病院
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療機関を三次救急医療施設と呼びます。	○	○	○	○	○	×
二次救急医療施設の認定の有無		○	○	×	○	○	×
三次救急医療施設の認定の有無		×	×	×	×	×	×

救急医療の実施状況

(項目の解説)		八雲総合 病院	八雲町熊石 国民健康 保険病院	長万部 町立病院	今金町国保 病院	せたな町立 国保病院	道南ロイヤ ル病院
休日に受診した患者延べ数(年間)		1,027人	320人	219人	259人	512人	102人
	うち診察後直ちに入院となった患者延べ数	59人	15人	17人	24人	65人	*
夜間・時間外に受診した患者延べ数(年間)		1,443人	82人	360人	627人	574人	29人
	うち診察後直ちに入院となった患者延べ数	127人	36人	41人	44人	131人	*
救急車の受入件数(年間)		629件	84件	208件	151件	286件	14件

◆患者の入退院等の状況
入院患者の状況(年間)

(項目の解説)			八雲総合 病院	八雲町熊石 国民健康 保険病院	長万部 町立病院	今金町国保 病院	せたな町立 国保病院	道南ロイヤ ル病院
年間	新規入棟患者数(年間)	1年間の入院患者の状況は、令和元年7月1日から令和2年6月30日までに入院、退院した患者数を示す項目です。	3,232人	338人	172人	323人	729人	304人
	うち予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者		1,923人	87人	13人	28人	36人	257人
	うち救急医療入院の予定外入院の患者		211人	56人	60人	79人	264人	12人
	うち救急医療入院以外の予定外入院の患者		1,098人	195人	99人	216人	429人	35人
	在棟患者延べ数(年間)		52,920人	19,520人	4,576人	6,032人	12,151人	62,960人
	退棟患者数(年間)		3,250人	343人	181人	317人	728人	308人

入院患者の状況(年間／入棟前の場所・退棟先の場所の状況)

(項目の解説)			八雲総合 病院	八雲町熊石 国民健康 保険病院	長万部 町立病院	今金町国保 病院	せたな町立 国保病院	道南ロイヤ ル病院
年間	新規入棟患者数(年間)		3,232人	338人	172人	323人	729人	304人
	入棟前 の場所	うち院内の他病棟からの転棟	477人	1人	0人	0人	0人	93人
		うち家庭からの入院	2,315人	240人	110人	179人	640人	58人
		うち他の病院、診療所からの転院	98人	13人	10人	17人	25人	136人
		うち介護施設・福祉施設からの入院	221人	84人	52人	127人	56人	17人
		うち介護医療院からの入院	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち院内の出生	121人	0人	0人	0人	0人	0人
		その他	0人	0人	0人	0人	8人	0人
	退棟患者数(年間)		3,250人	343人	181人	317人	728人	303人
	退棟先 の場所	うち院内の他病棟へ転棟	609人	0人	0人	0人	0人	93人
		うち家庭へ退院	2,238人	199人	59人	142人	536人	50人
		うち他の病院、診療所へ転院	108人	16人	54人	47人	101人	42人
		うち介護老人保健施設に入所	73人	0人	4人	66人	1人	12人
		うち介護老人福祉施設に入所	67人	75人	32人	28人	20人	17人
		うち介護医療院に入所	0人	9人	0人	0人	0人	0人
		うち社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	48人	1人	0人	6人	33人	1人
		うち終了(死亡退院等)	107人	43人	32人	28人	37人	88人
		その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人